

古町地区道路空間再構築基本計画（素案）に対するご意見とその対応について

平成23年3月10日と3月11日にクロスパル新潟で「古町地区道路空間再構築基本計画」の素案について沿線の自治会長と意見交換会を行いました。

意見交換で出されたご意見とその対応については以下のとおりです。

1) 基本計画（素案）に対する意見

①基本的な考え方について

意見	意見に対する対応
● <u>自動車優先の検討ではなく、歩行者優先として検討すべきではないか。</u>	⇒素案は、歩行者優先を基本的な考え方としており、基本計画はこれをさらに明確にしています。

②自転車の走行環境について

意見	意見に対する対応
● <u>路側帯を自転車レーンとするのは危険ではないか。一番堀通での社会実験の時は、車道に近く、怖くて殆ど利用できなかった。</u> ● <u>今後、高齢化社会を迎えるにあたって、高齢者の自転車利用は多くなることが考えられる。</u> ● <u>雪の日や雨の日の路肩の走行は、高齢者にとっては大変危険を伴うのであると思う。</u> ● <u>歩行者と自転車を別にするために自転車を車道側にもっていくのではなく、歩道を拡げ、ゆっくり歩道を歩くとか、ゆっくり自転車で回るという視点が必要なのではないか。</u> ● <u>自転車の走行空間について、将来的なイメージとして考えられる形を示したうえで、古町地区ではこれを採用するというものを提示してほしい。</u>	⇒自転車の走行空間の詳細な検討は、新潟市自転車利用環境計画に基づき検討していきます。 自転車専用通行帯、幅広路肩を整備しても、子どもや高齢者、体の不自由な方は道路の事情によらず歩道通行ができます。

③停車スペースについて

意見	意見に対する対応
● <u>停車スペースはどれくらいの配置間隔で考えているのか。停車スペース以外に駐停車できないとなると業務に支障が出る恐れがある。（目的地の目の前に停車できないのは不便）</u> ● <u>利用時間が10分では短いのではないか。古町は商業施設が多く、10分、20分では足りない。</u> ● <u>利用ルールの管理はどのように行うのか。警察に任せるのか、個人の常識に任せるのか。</u>	■配置について ⇒設置位置については、今後事業の段階で沿線地域の方々と話し合いながら検討していきます。 ■停車時間について ⇒社会実験によるアンケート結果や、沿線地域の方々と関係者と協議しながら検討していきます。 ■ルール化について ⇒関係者の意見を聞きながら具体的なルールを検討していきます。

④観光振興との連携について

意見	意見に対する対応
<p>●市の観光施策として、中心部の飲食店をPRし集客に努めているが、観光バスは路上に停車しており、昼間だと昼食のために40分以上停めていることもある。基本計画のように道路空間を再構築すると、<u>観光バスは停車できなくなってしまうのではないか。</u></p> <p>●新潟市は観光都市を目指しているのに、古町地区はバスが停車可能な路上スペースも少ない。観光振興のための対応の考え方が入っていないのではないか。</p> <p>●<u>観光で訪れた県外客は殆ど自家用車で来る。</u>そうした人たちが道に迷ったときに停まれるスペースは必要なのではないか。</p>	<p>⇒観光交流も重要な政策課題であるため、観光バスの乗降の実態を踏まえ、可能な限り乗り降りしやすい環境を目指します。</p> <p>⇒乗用車を利用して来訪する観光客に対しては、一時的な乗り降りは路上でも出来るが、駐車については路外の駐車場を利用することとし、観光部局等と連携しながら分かりやすい誘導を目指します。</p>

2) その他の意見

意見	意見に対する対応
<p>●歩車分離式の信号機は、歩行者や自動車利用者に勘違いを誘発し、危険ではないか</p>	<p>⇒歩車分離式の信号機は、巻き込み事故防止のため設置しています。勘違いの誘発については、利用者に正しく周知されるよう努めます。</p>
<p>●路上における違法駐車や、歩行者・自転車利用者等の交通ルールの遵守状況について実態調査をしてはどうか。</p>	<p>⇒基本計画の実施にあたっては、今後もより現状の把握をしながら検討していきます。</p>
<p>●以前のように、一方通行に戻してから自転車走行空間や、停車スペースなどを設置するのが良いのではないか。</p>	<p>⇒一方通行でも相互通行でも、道路空間を再構築できる空間は同じと考えているが、一方通行の解除は、地元の方々の要望により取り組んだ経緯があり、道路空間の再構築については、現状の相互通行を前提に、道路空間の有効活用を図っていくことを考えています。</p>